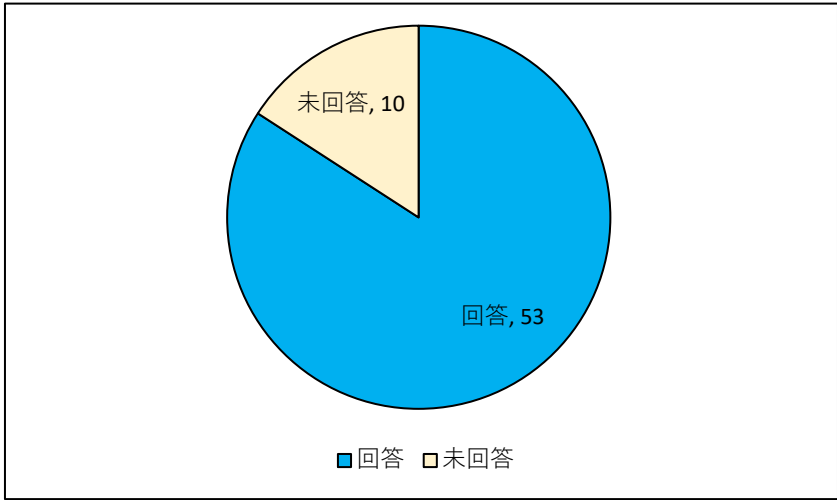
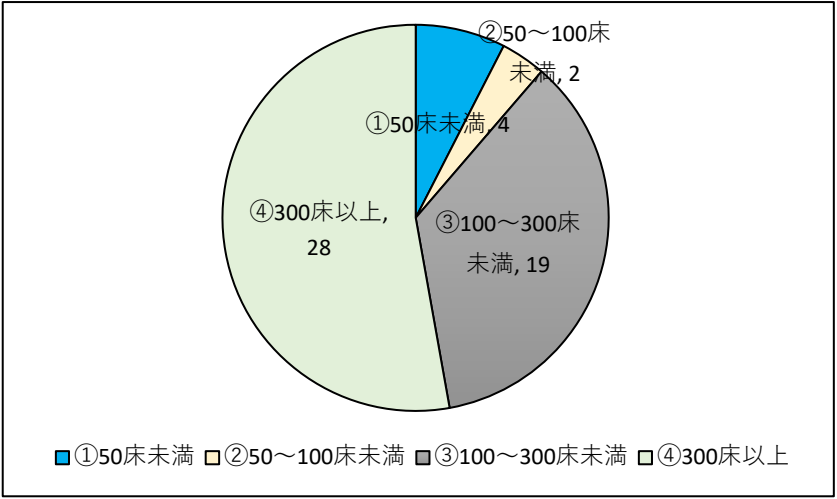
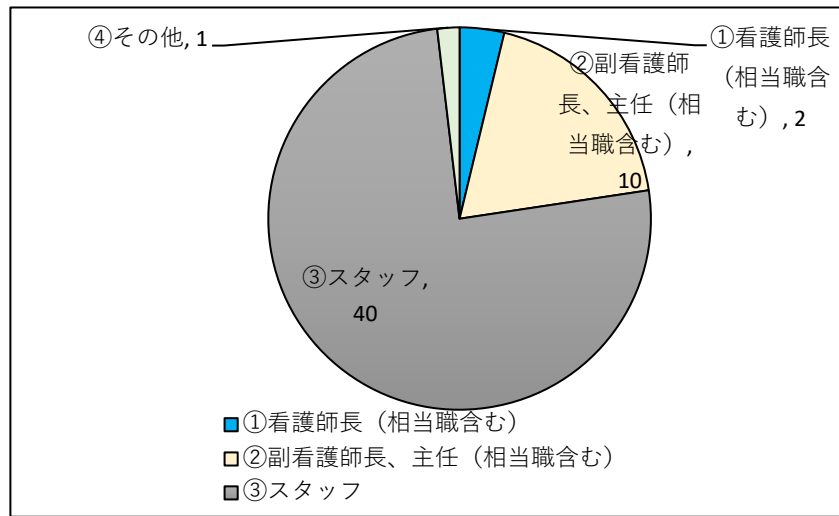


テーマ	熊本地震 被災から復興までの歩み～私たちはどう乗り越えたのか～		
目的	1. 組織の一員として自施設・自部署の災害対策に関する現状を把握する 2. 災害経験者の実体験から、自施設・自部署の災害対策に関する問題点を抽出し、改善に繋げる機会とする		
目標	1. 手術室における災害の概要を理解する 2. 手術室看護師として災害に備えた取り組みができる		
研修詳細	日時	2025 年 6 月 28 日	土曜日
	時間	13:30 ~ 16:30	
	場所	アステム 宮崎支店	
	研修題名	熊本地震 被災から復興までの歩み～私たちはどう乗り越えたのか～	
研修結果	参加人数	学会員 19 人	非学会員 44 人
	回答数	53 人	回答率 84.1%
	 <p>■回答 □未回答</p>		
1-1 自施設の病床数	n=	53	
	 <p>■①50床未満 □②50~100床未満 ■③100~300床未満 □④300床以上</p>		

研修結果

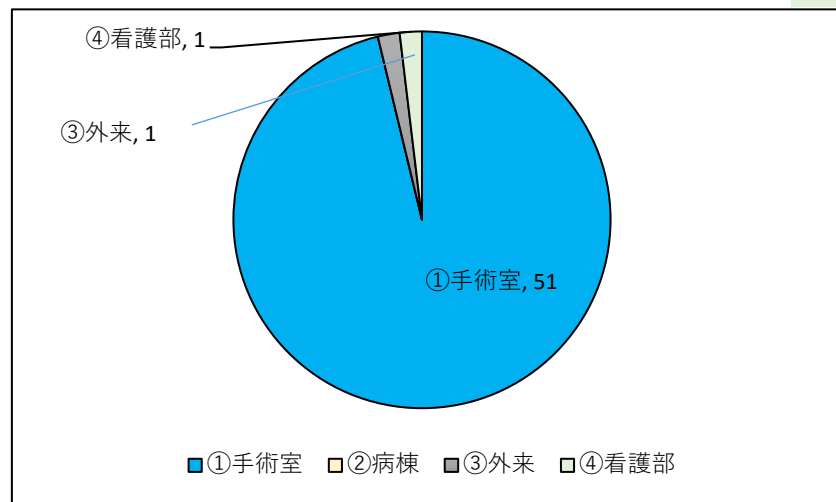
1-2 職位

n= 53



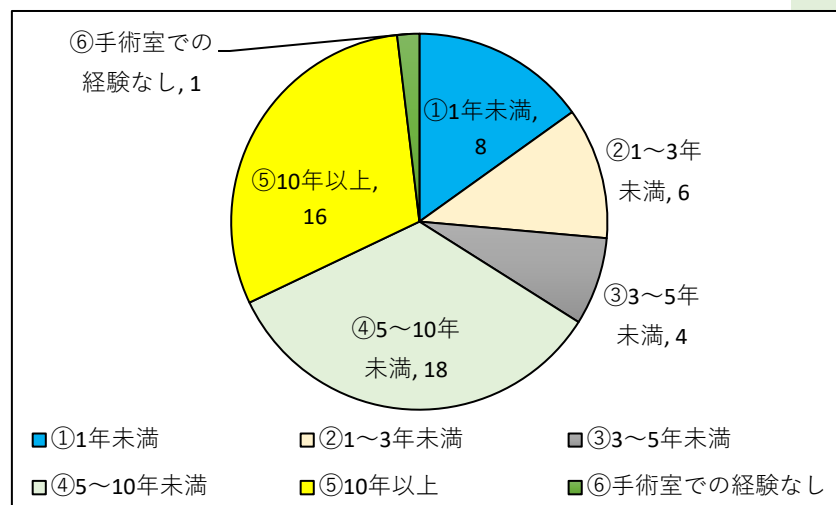
1-3 現在の所属部署

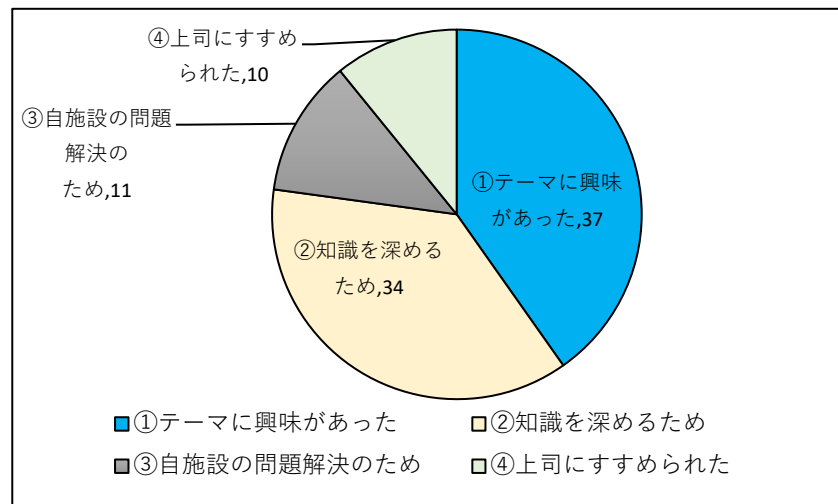
n= 53



1-4 手術室所属年数

n= 53

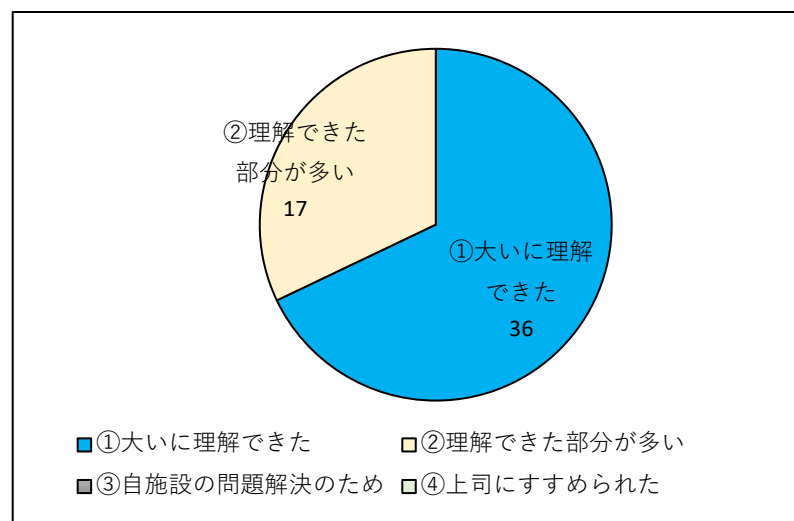




2-2 その他の動機

- ・ 自施設のマニュアルが不十分だと感じたため
- ・ 手術部にける災害時のシュミレーションを企画しており、その学習のため
- ・ 南海トラフ地震への備え
- ・ 被災者の実体験を聞いたかった
- ・ 災害への備えについて他施設との情報交換

3-1 講義内容の理解度



3-2 3-1で④⑤と回答された方の理由

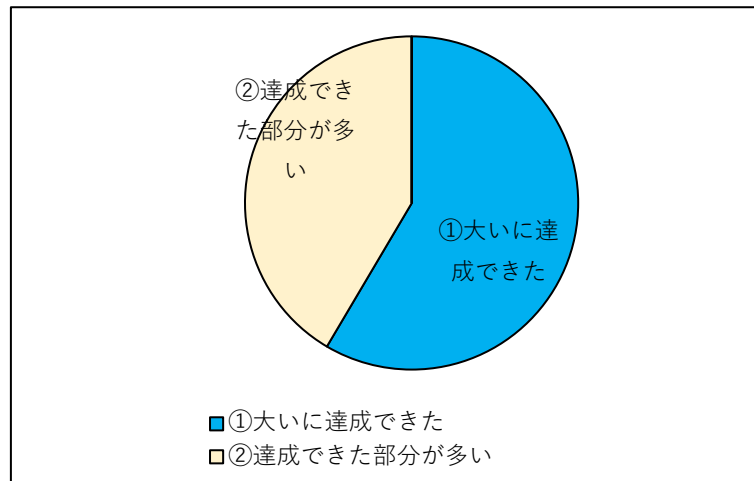
回答者 0名

研修結果

4-1 研修受講者の研修目標の達成度

n=

53



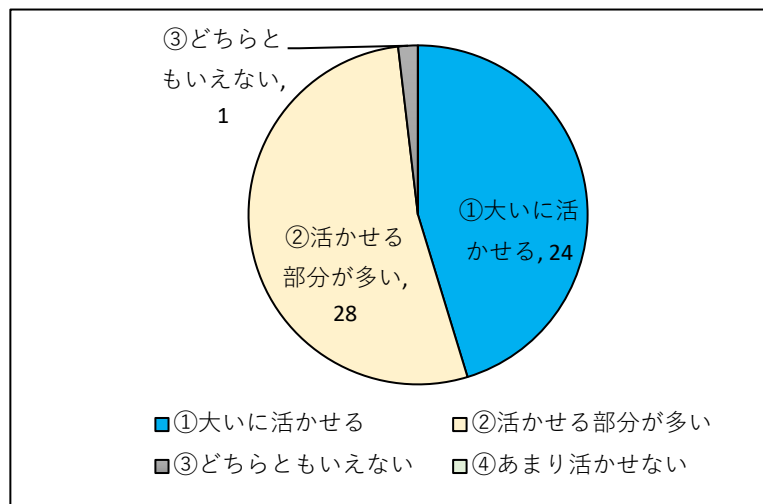
4-2 4-1で④⑤と回答された方の理由

回答者 0名

5-1 今回の研修が自施設で活かそうか

n=

53



5-2 5-1で④⑤と回答された方の理由

回答者 0名

6 手術室での日常業務で困っていること

- ・新人教育、新人との関わり方
- ・人員の不足
- ・災害・防災訓練に対する活動
- ・夜間の手術器械の洗浄業務
- ・術前訪問の人材、時間の確保
- ・体位固定に関する実践、教育

<p>研修結果</p>	<p>7 今後の研修についての要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成（新人教育等） ・医療安全 ・SSI ・感染症患者の手術時の対応 ・災害、防災対策 ・麻酔の知識
	<p>8. 研修に関する意見（フリー記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術室の災害について学べる機会は少ないので助かる ・グループワークで他施設の災害対策を知ることができた ・自施設の課題についてヒントを得る事ができた ・災害未経験なため、避難する為のストレッチャーやヘルメットなど、不足している ・病棟と違い、手術室は連絡方法や応援が不足しがちである。 ・スタッフの意識として災害に対しての意識不足もあるため、定期的な机上訓練を行っていきたい ・手術室が3階であり垂直移動が課題。水平移動を当院でも訓練に取り入れていきたい ・防災ホースの使い方を確認しようと思った ・アクションカードがないため、整備する必要があると実感した